

株式会社新宣^{しんせん} 代表取締役 ^{さの ゆかり} 佐野 由香利 氏

“にぎわいの空間づくり”が使命。 イベント業で新潟の活性化に貢献



PROFILE

1970年生まれ。コンピューター関連の会社を経て、1995年(株)新宣に入社。2015年(株)シンセンホールディングス代表取締役役に就任。2019年(株)新宣、(株)シンセンリフォーム、(株)井浦建設代表取締役、2020年(株)シンセンメディカルコミュニケーションズ代表取締役役に就任。その他、社団法人新潟青年会議所 理事長、協同組合新潟県異業種交流センター 理事・下越新潟支部長（現任）、公益財団法人新潟県女性財団 理事（現任）などを務める。新潟商工会議所女性会会長に2022年11月1日就任。

見本市や展示会、国際会議、学会、式典など、あらゆるイベントの業務をトータルでサポートする新宣。4年前、創業者である父から事業を引き継いだ佐野代表に、新たな取組や今後の展望、そして昨年会長に就任した新潟商工会議所女性会について、お話を伺いました。



株式会社新宣
〒951-8025
新潟市中央区神道寺2-3-23
TEL : 025-243-6827
<https://shinsen.biz/>

新潟商工会議所女性会は昨年創立20周年を迎えました。全国大会では県内の女性会と力を合わせ、みなさんをおもてなししたいと思います

創業者からのバトンを受けて初の海外拠点事業に挑戦

1986年に創業した新宣は、イベント・コンベンション事業の企画から会場設営、運営管理まで請け負うワンストップサービスを強みとする総合イベント会社。2019年には2代目となる佐野代表に事業が継承され、新たな取組として「シンセンベトナム」を2020年に設立した。「海外展開に挑戦したいという気持ちは30代後半からあり、10年程前から東南アジアの国をいくつか見てきました。ベトナムは多くの日本企業が進出し、現地でプロモーション活動を行う会社もたくさんあることが分かったので、首都のハノイに合弁会社を立ち上げることにしたのです」と佐野代表。新型コロナウイルスの影響で苦しいスタートとなったが、ようやく昨年から本格的な業務を開始。ベトナム日本商工会議所へも入会し活動している。

お客様の要望に応えること、信頼関係を築くことが大事

創業者である父の背中を見てきた佐野代表が、事業を続ける上で大切にしているのは“お客様の要求にいかに応えるか”ということ。「現場では予想外のことも起きるのですが、できないことを言っても仕方がない。どうすればお客様の要望にお応えすることができるかを考えます」。また、同社は数千人が参加する大型イベントや国際会議などを手掛けているが、成功させるためには「一つのチームとしてお客様とともに作り上げていくので、お客様との信頼関係を築いていくことが何よりも大切」だという。



「にいがた酒の陣」をはじめ、朱鷺メッセなどで数々のイベントをサポートしている同社。今年の夏には子どもたちに人気のイベント「超・恐竜島NIGATA2023」を手掛けた（7/22～8/20）。



1月ベトナムのハノイで開かれた、新潟県とベトナムとの交流会で「シンセンベトナム」が、備品等の設営サポートを行った。

全国の女性会と交流を深めたい

佐野代表は昨年11月、新潟商工会議所女性会会長に就任。今年10月5日、6日には、日本各地の商工会議所女性会会員が集まる全国大会を新潟で開催する。「県内の10商工会議所の女性会で構成する新潟県商工会議所女性会連合会を10月5日に立ち上げるので、これを機に県内はもちろん他県の女性会会員とも交流を深めていきたいです。また、大会では講演会や懇親会、記念式典をはじめ物産展も企画しているので、全国の女性会のみなさんに少しでも楽しんでいただければと思っています」。

新宣の事業を通して地域に賑わいを

今後は、新潟に人を呼び込む事業をさらに展開していきたいという佐野代表。「コロナ禍で県外から人が来なくなったとき、1,000人集まるイベントを定期的に手掛けていたことが、地域のために役に立っていたのだと改めて思いました。“にぎわいの空間づくり”が我々の使命だと思っているので、新潟の交流人口を拡大する事業や企業PR、ベトナム法人では進出を希望する会社様のお手伝いができると考えています」と話すように、事業を通じて活力あふれる新潟の実現に貢献していく。



県内の女性会と一緒に5つの部会に分かれ、全国大会の内容についてミーティング。2日間の大会では、全国から約2,100名の商工会議所女性会会員が参加する予定。